

平成26年3月29日（土）に、文京キャンパスにおいて、平成25年度定時評議員会が開催され、「平成26年度学校法人拓殖大学事業計画・予算案」が審議され、原案通り承認されました。

平成26年度の事業計画及び予算の概要は、次のとおりです。

I. 事業計画

◆平成26年度事業計画策定について

はじめに

予算編成にあたっては、大学経営を取り巻く厳しい財政状況を鑑み、各事業における教育・研究の充実と経営との融合を図るとともに、既存事業の見直し、費用対効果の妥当性・適切性など多岐にわたり検証しました。予算編成における取り組みとして、物件費については前年度決算額（平成24年度決算）と当年度予算額（平成25年度）のいずれか低い額をベースに各予算単位毎に目標額を設け、新規・継続事業の区別無く目標額以内を目途に策定しました。なお、長期にわたる大学文京キャンパス整備事業の推進、学習環境・学生生活環境の整備充実、学生募集対応、就職支援対応、既存の施設設備の維持・改善等については優先的に実行することとしており、具体的な事業内容は、後述の「平成26年度事業概要」に示すとおりです。

平成26年度事業方針について（理事長）

1. 法人運営の基本方針

（1）時代認識

21世紀に入って早や10年余が経過した。この間、低迷する米欧経済とは対照的に中国など近隣アジア諸国の経済発展は目覚しく、グローバル化の進展に伴い我が国の優位性が揺らぎ始め、企業は海外に活路を求めて進出を余儀なくされている。

一方、大学を取り巻く環境に目を転ずれば少子化傾向のもと、長引く経済不況が地方学生の地元志向を強め、首都圏では第二次ベビーブーム期に郊外に転出した各大学が都心に回帰し、これを実現した大学が志願者を伸ばしている。

また、学生の将来を左右する就職も景気の動向や若者の価値観の多様化など、今や社会問題化しつつある。

平成23年3月11日に発生した東日本大震災と福島原発事故は、多くの犠牲者を出し、被災住民の多くが今もなお帰郷できないなど依然として厳しい状況が続いている。

かかる状況にあって、2020年の東京オリンピック開催地決定は、国民に大きな希望を与え、わが国の未来創造への大きな原動力となることであろう。

（2）建学の目的と理念の確認

本学創立百周年を記念して編纂した「拓殖大学百年通史」は「明治編」「大正編」「昭和前編」に続き、平成25年3月には最終編である「昭和後編・平成編」を刊行した。

この編纂作業を通じて本学建学の目的とその教育理念が、「人種の色と地の境を越えて、荒地に文化の花を咲かせる開拓者の気概を持った有為の人材を育成する」ことにあり、あわせて困難を厭わずこの精神を海外各地で実現してきた先人・先輩の高い志と生き様を確認することが出来た。

（3）法人の使命

平成23年6月11日にスタートした本執行部はこの「時代認識」と本学百年の「建学の目的と理念」を検証した結果、我が国の未来を切り拓くためには、近隣アジア諸国との共存と、アジアの将来を担う人材の育成が不可欠であることを共通認識として持ち、本法人の今日の要請である次の三つの課題を推

進する。

①グローバル人材の育成並びにその推進力となる学術研究と諸事業の展開

グローバル人材の育成は本学建学の目的であり、今日の時代的要請ともなっている。伝統とは革新の連続である。本法人の更なる発展のために拓大的グローバル人材教育の強化充実とその推進力となる研究機構の再構築を図る。

②学生教育の充実とスポーツの活用

本学に勤務する全ての教職員は、本学に在籍する全ての学生に対して、手厚く親切な教育を施し、学生の満足度向上に努め、卒業時には高い志と明るい希望をもって社会に送り出すことに一丸となって取り組まなければならない。

また、本学は学生の長い人生で最も必要となる努力する力、団結する力、人を思いやる心などを成長発展させるためにスポーツも教育の大きな柱の一つと位置づけ、その振興を図る。

③キャンパスの再編成

平成16年に着手した文京キャンパスの再開発整備事業は、現在、最終第3ステージが進行している。平成27年（2015年）の完成をみると約40年振りの文京キャンパスと八王子キャンパスの再編が実現することから、平成26年度は本学の将来を決定づける重要な時期となる。特に八王子キャンパスについては、広大な施設・設備を有することから、その利活用について早急にあらゆる角度から検討し結論を出さねばならない。

本法人の掲げる「拓大ルネサンス事業」とはまさにこの建学の理念に基づく「グローバル人材育成の強化振興」と建学の地「文京キャンパスの発展的復興」にある。

これらを迅速かつ強力で推進するための「執行部体制」「教学体制」「事務局体制」及び「財政基盤」の強化が急がれる。

「“信”なくば立たず」私達執行部はこの課題に誠意をもって真摯に取り組むと同時に教職員は勿論のこと、評議員を含む全ての関係者の信頼と協力を得て誇りある旧制大学としてのポジションを回復すべく邁進努力する。

平成26年度予算編成にあたって

(1) 重点施策事項

- ①文京キャンパス再開発整備事業第3ステージの推進。
- ②第3ステージ終了後の両キャンパス再編成を見据えた各業務並びにカリキュラム改編を含む教学体制の策定と点検。
- ③グローバル人材育成強化（外国人留学生関連も含む。）のための各業務の充実強化並びにこれを推進するための学術研究の充実と諸事業の展開。
- ④就職に強い大学を目指し、従来の業務強化の上にキャリア教育、企業開拓等の強化充実を図る。
- ⑤体育の振興強化及び学生の自主的諸活動の支援を図り、本学学生の規律と連帯感並びに進取の気概を醸成する。
- ⑥手厚く充実した学生教育を展開し、留年者や途中退学者の減少を図る。
- ⑦公益財団法人「大学基準協会」の認証評価への対応は、引き続き全学的に取り組む。
- ⑧東日本大震災及び福島原発事故に関わる被災学生の学費、生活等につき、引き続きその支援を図る。
- ⑨北海道短期大学は新たな学科編成に伴う文部科学省への申請基準を満たすこと。
- ⑩第一高等学校については高大連携を進めるためにも従来以上に法人との連携を深め、その向上発展を図るとともにそれぞれ固有の課題解決に取り組む。

(2) 基本的考え方

- ①本法人の現在保有している限られた資産（人的財産・歴史的財産・土地・建物）を最大限に有効活用して各設置校の発展を図るため、全ての事業について費用対効果を原則とする。

- ②各設置校においては、予算学生数と現状との乖離の改善及び確実視される消費税増税への対応等、今後の財政基盤確保を踏まえた事業計画を策定することとする。
- ③特に大学においては、平成25年度の学部入学者が予算定員を下回ったことにより生じた減収（大学学費分約1.7億円等）が今後も続くことを踏まえ、平成27年度以降の教育研究整備資金を確保するために物件費及び人件費について可能な限り抑制に努めることとする。
- ④予算編成にあたっては、特に入口（学生募集）と出口（就職）、そして間に位置する教育・研究及び学生生活の充実等の強化に繋がるように十分配慮し策定することとする。
- ⑤平成26年度事業計画（予算）は新規・継続事業の区別無く総合的に比較検討し、策定することとする。
- ⑥事務局各部長は所属各課の24年度の決算結果及び25年9月までの事業評価を総括し、平成26年度事業計画（予算）策定にあたっては、部単位を基本とし、原則として新規・継続事業を含め、以下の通りとする。
 - (1)平成24年度決算額（実績額）及び平成25年度当初予算額のいずれか少ない額を上限とする。
 - (2)消費税の取り扱いについては、別途指示する。
 - (3)特別事業として緊急性が高い事業や就学環境の向上を図る上で平成26年度内の実施が特に望ましいと考えられる事業、また、特別な事情により平成26年度内に増額が見込まれる事業については、別途事務局長に申請することとする。

◆平成26年度事業概要

平成26年度の主な事業は、次のとおりとなっています。

1. 文京キャンパス整備事業の推進

- ①図書館・教室棟建築工事、設計監理料
- ②図書館・教室棟移転プロジェクト・マネジメント
- ③図書館・教室棟、センターモール什器・備品
- ④守衛所建築工事、解体費、設計監理料
- ⑤守衛所什器・備品
- ⑥第I期既設建物改修工事（B・C・D・E館）、設計監理料
- ⑦第I期既設建物改修什器・備品（B・C・D館等）
- ⑧文京B館学生食堂厨房設備改修
- ⑨引越関連経費
- ⑩その他

2. 教育・研究支援関連

- ①「歴史の中の拓殖大学」ゲストスピーカー招聘講師料
- ②商学部海外短期研修（ニュージーランド、インターカルチャー研修・韓国）
- ③授業用ソフトウェアライセンス更新
- ④教研ブレードサーバ増設
- ⑤教研LAN用無線LANコントローラ更新
- ⑥文京C館603・604教室マルチメディア設備設置
- ⑦文京F館CALL教室PC更新
- ⑧工学部出席管理用カードリーダー購入
- ⑨デザイン学科AutoCADソフト購入
- ⑩八王子工学部棟PC1・3・4空調機更新
- ⑪八王子工学部棟CAE室、エレクトロニクス実験室1機器更新

- ⑫ オープンスペース設置PC更新
- ⑬ 「白鵬関研究プロジェクト」関連経費
- ⑭ 国際協力研究機構研究プロジェクト関連経費
- ⑮ 図書館データベース等横断検索システム導入
- ⑯ 図書館システム更新
- ⑰ 新図書館パンフレット作成
- ⑱ 学術機関リポジトリ導入

(継続事業) 教育支援システム「Blackboard」運営サポート、「ベストティーチャー賞」、FD(ファカルティ・ディベロップメント・「授業評価」等)、政経学部環境配慮型CSR対応教育プログラム、国際学部農業総合コース演習、工学部国際エンジニアコースアメリカ提携校留学、文部科学省補助事業「産業界のニーズに対応した教育改善・充実体制整備」事業、個人研究助成、国内外学会参加、受託研究・奨学寄付金受入、各学部海外研修プログラム、マレーシア日本語教育(MJHEP)、拓殖大学後藤新平・新渡戸稲造記念「高校生・留学生作文コンクール」、産学連携研究センター運営(諏訪工業メッセ等)、子供理科(ものづくり)教室、海外提携校交換留学生受入、入学前教育プログラム、研究助成、研究会、公開講座(国際講座・安全保障シンポジウム・アジア塾・開発教育ファシリテータ・イスラーム研究所講演会・日本文明論・日本語教師養成講座・外国語講座等)、各研究所紀要発刊、図書館貴重図書等マイクロフィルム化、旧外地関係資料アーカイブ、その他

3. 学生支援関連

- ① GPA優秀者表彰
- ② 進路調査・キャリアカウンセラー業務委託
- ③ 若手OB・OG交流会実施
- ④ 就職対策適性検査実施
- ⑤ 外国人留学生就職支援強化
- ⑥ 学生生活実態調査インターネット調査
- ⑦ 学生Webメールサービス更新
- ⑧ 女子バスケットボール部外国人留学生援助
- ⑨ 第一体育館照明器具交換
- ⑩ ゴルフ練習場、サッカー・ラグビー場照明塔制御板更新
- ⑪ 八王子国際キャンパス内環境整備

(継続事業) 東日本大震災被災学生奨学金、東日本大震災特別試験合格者支援、各種就職支援対策(就職支援講座・合宿セミナー・企業合同セミナー、インターンシップ)、eポートフォリオシステム、政経学部「英語ボキャビル努力賞」、TOEFL・TOEIC Test賞、商学部会計教育センター運営、工学部学習支援センター運営、各学部新入生ガイドブック、八王子キャンパス通学路線バス利用者負担軽減、学生チャレンジ企画支援、「桂太郎塾」運営費、TOEFL-IITP試験補助、外国人留学生日本語学習支援、学部・大学院その他奨学金、入学支援奨学金、私費外国人留学生奨学金、研究所奨学論文奨学金、チャーターバス利用制度、北海道研修所運営、学生寮運営、厚生施設利用補助、定期健康診断、学生生活懇談会(全国8ヶ所)、新入生実態調査、学生センター白書、日本語弁論大会、新入生オリエンテーションキャンプ、体育強化部支援、陸上競技部・ラグビー部・男子バスケットボール部外国人留学生援助、学生用災害マニュアル、その他

4. その他の施設・設備関連

- ① 八王子管理研究棟屋上防水補修
- ② 八王子管理研究棟教職員ラウンジ給茶器サポート業務委託
- ③ 図書館エレベーター制御部品交換

- ④恩賜記念館外壁タイル補修
 - ⑤八王子電気設備（キューピクル塗装、蓄電池交換等）補修
 - ⑥文京留学生寮シャワーユニット、網戸設置
 - ⑦学内設置AED更新
 - ⑧入学課高速プリンター設置
- （継続事業）文京A・B・C館建物維持管理、八王子校内ゴミ箱交換、その他

5. 設置校・その他

・大 学

- ①大学基準協会による認証評価手数料
- ②キャンパス移転告知広告
- ③学生募集新戦略（説明会等）の展開
- ④箱根駅伝出場に伴う新聞・雑誌等の広告掲出
- ⑤高校生のためのアジアの言語と文化（地方版）開催
- ⑥八王子消火器交換
- ⑦防災関連用品の拡充
- ⑧図書館・教室棟竣工式経費
- ⑨入試システム更新
- ⑩人事給与システム更新
- ⑪経理システム改修

（継続事業）学生募集ポータルサイトバナー広告、コンビニエンスストアを活用した学生募集広告、女子学生確保のトータルイメージ戦略、学生募集キックオフパーティー実施、保護者対策のための大学説明会及びパンフレット作成、オープンキャンパス、本学主催進学説明会、インターネット出願システム、工学部アイデアコンテスト（オレンジカップ）、日本留学フェア、韓国・台湾・インドネシア・タイ事務所運営、心と体の健康相談委託、拓殖大学ルネサンス事業募金活動、百年史編纂（資料編）、拓殖大学杯サッカー・バレーボール大会、「高校生のためのアジアの言語と文化」講座・文京アカデミー共催公開講座・知的好奇心講座等、その他

・北海道短期大学

- ①OSアップグレード対応によるPC更新

（継続事業）奨学金制度（在学生・社会人・地域振興・体育・外国人留学生・私費外国人留学生等）、深川市助成金（社会人学生・地域振興特別奨学生・公開講座）、公開講座（農業セミナー、保育セミナー）、FD講習会、中国現地入学試験（北京・黒竜江）、オープンキャンパス、野菜・花卉実習、農場公開、スポーツ演習、ミュージカル公演、海外研修派遣、キャリアアップ講座（パソコン検定）、自宅通学者支援、無料スクールバスの運行、ネットワーク接続料等、ベストティーチャー賞、第3農場（納内）利活用、その他

・第一高等学校

- ①校内LANサーバ及び教職員用PC更新
- ②常駐外国人講師委託料
- ③生徒指導要録の電子化
- ④校舎・体育館等外壁補修
- ⑤グラウンド全面改修
- ⑥相撲道場改修
- ⑦教室等テレビデジタル化
- ⑧オープンキャンパスガイドマップ作成
- ⑨音楽科ハンドベル購入

⑩経理システム改修

(継続事業) 奨学金制度、新入生オリエンテーションキャンプ、海外語学研修、高大連携推進、留学生受け入れ、サテライト講座、入試学校内外説明会、子供安全連絡網、生徒アンケート集計委託、体育祭、外国人講師による英語ネイティブ授業、合唱コンクール、教養講座、その他